

ID

氏名

年齢

科名 消化器内科 病棟

インフリキシマブ療法
(関節リウマチ)

【3 mg/kg】

疾患名 関節リウマチ

主治医 指導医 HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()

スケジュール

	初回	2週目	6週目	(14週目)	(22週目)
レミケード(インフリキシマブ)	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
3 mg/kg	↓	↓	↓	↓	↓
※4回目以降、増量・投与間隔短縮が可能					

- 【注意】 * 初回投与後、2週、6週に投与し、以後8週間間隔で投与
* 6週の投与以後、効果不十分又は効果が減弱した場合には、投与量の増量や投与間隔の短縮が可能。投与量の上限は8週間の間隔の場合、10mg/kg(登録レジメン:[増量:10mg/kg]を使用)、投与間隔短縮の場合、6mg/kg(登録レジメン:[増量:6mg/kg]を使用)であり、最短の投与間隔は4週間
* 1.2μm以下のインラインフィルターを通して投与すること

☆通常より減量する際の理由☆

(レジメン)

《1 - 3回目》

- ① 生食500mL にて血管確保

維持 (20 mL/時間)
- ② レミケード投与前

抗ヒスタミン薬()()錠 内服

カロナール500 mg()錠 またはNSAIDs()()錠 内服
- ③ レミケード + 生食 250 mL

☆ 輸液ポンプにて10 mL/時間で点滴静注
- ④ 10 mL/時間で15 分間点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

☆ 輸液ポンプにて60 mL/時間で点滴静注

インフリキシマブ療法(関節リウマチ)

⑤ 60 mL/時間で15 分間点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

☆ 輸液ポンプにて120 mL/時間で終了まで点滴静注

≪4回目以降≫

① 生食500mL にて血管確保 維持 (20 mL/時間)

② レミケード投与前

抗ヒスタミン薬()()錠 内服

カロナール500 mg()錠 またはNSAIDs()()錠 内服

③ レミケード + 生食 250 mL

☆ 輸液ポンプにて100 mL/時間で点滴静注

④ 100 mL/時間で15 分間点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

☆ 輸液ポンプにて300 mL/時間で終了まで点滴静注

	コース	コース	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
レミケード 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認								

	コース	コース	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
レミケード 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認								